

徳島市産業振興ビジョンについて

徳島市産業振興ビジョンの概要

○ 策定背景

社会経済の変化

都市間競争の激化

少子高齢化による労働力人口の減少

消費者ニーズの多様化

経済のグローバル化

震災(地震・津波)の発生

エネルギー問題の顕在化

徳島市産業振興ビジョンの概要

地域産業の現状

地域経済の成長を牽引する産業の不在

農業・地場産業等の事業承継の困難化

従業者数(労働力人口)の減少

生産拠点の流出

災害対策の必要性

社会経済の変化

- ・ 都市間競争の激化
- ・ 少子高齢化による労働力人口の減少
- ・ 消費者ニーズの多様化
- ・ 経済のグローバル化
- ・ 震災(地震・津波)の発生
- ・ エネルギー問題の顕在化

地域産業の現状

- ・ 地域経済の成長を牽引する産業の不在
- ・ 農業・地場産業等の事業承継の困難化
- ・ 従業者数(労働力人口)の減少
- ・ 生産拠点の流出
- ・ 災害対策の必要性

本市経済が持続的な成長・発展を遂げるため

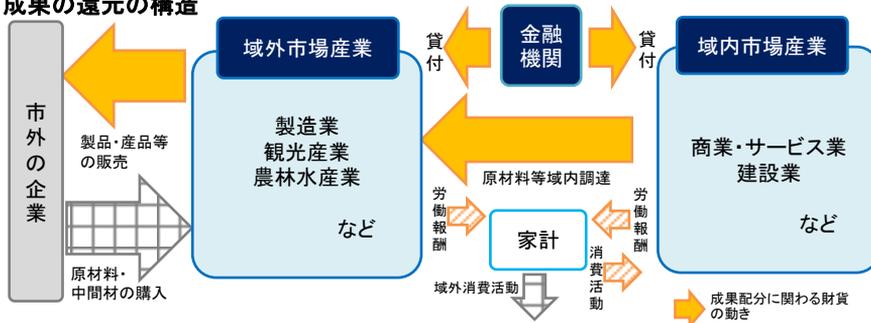
中長期の視点を重視した産業振興の方向性を定め、成長・発展を通じた成果が地域社会にも広く還元(＝地域経済で循環)される地域経済(※)の構築に向けた取り組みが必要である。

徳島市産業振興ビジョンの概要

※地域社会への成果還元の仕組み

- ・域外の企業への製品等の販売(輸出による域外所得の獲得)
- ・域内の企業間での製品等の販売(域内調達)

成果の還元の構造



徳島市産業振興ビジョンの概要

地域に成果を還元する製品等

- 域外の企業への製品等の販売(輸出による域外所得の獲得)
(例) ・世界中から注文がくるニッチトップ製品
・高品質・高付加価値の農林水産物
・地域の資源を生かしたツーリズム など
- 域内の企業間での製品等の販売(域内調達)
(例) ・原材料・中間材がすべてが徳島市産の製品 など

このような製品等の開発・販売を頑張っている企業・やる気のある企業等の成長・発展を支援し、その成果還元により本市の産業を振興することで、地域経済全体の成長と発展を促す

○ 産業振興ビジョンとは・・・

第4次徳島市総合計画を踏まえた今後の本市の産業分野における上位計画で、産業の将来像を示すとともに、その実現に向けた産業振興の方向性や戦略を示すもの

○ 策定の目的

少子高齢化の進行、経済のグローバル化や地域間競争の激化など、産業を取り巻く環境が大きく変化する中で、本市が持続的な発展を遂げるための産業振興の方向性を、中・長期的視点で示し、これに基づいた産業振興を図ることで、地域経済の発展、市民生活の向上を目指す

徳島市産業振興ビジョンの概要

- 計画期間：10年間
(平成27～36年度)
※ 施策内容については、5年間で見直し
- 対象分野：農林水産業
工業・地場産業
商業・サービス業
観光、コンベンション
など

徳島市産業振興ビジョンの概要

- 基本的視点(案)

自立した地域経済の実現

- ・自らの力で成長・発展できる地域経済の構築
- ・新たな成長を生み出せる地域経済の構築
- ・地域内で支え合う地域経済の構築

○ 目指すべき方向性(案)

**自立した地域経済を支える
経済循環づくり**

- ・域外所得の増加を目指した産業の育成・創出
- ・地域内経済循環の促進
- ・産業振興に繋がるまちづくりの推進

○ スケジュール(案)

- | | | |
|------------------------|-----|---|
| H25年8月20日 | 第1回 | ・ビジョン策定の基本方針等の説明
・会議の進め方(スケジュール)等の確認
・調査結果・統計データによる現状把握 |
| H25年10月下旬～
11月上旬 | 第2回 | ・ビジョン骨子(案)に対する意見交換 |
| H25年12月下旬～
H26年1月上旬 | 第3回 | ・ビジョン骨子の修正
・ビジョン素案(案)に対する意見交換 |
| H26年2月上旬 | 第4回 | ・ビジョン素案の修正
・ビジョン素案の策定 |
| パブリックコメントの実施(H26年7～8月) | | |
| H26年10月上旬 | 第5回 | ・パブリックコメント実施結果の報告(ビジョン案の修正)
・ビジョンの策定 |